

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成25年4月4日 (2013.4.4)

【公表番号】特表2012-520730(P2012-520730A)
 【公表日】平成24年9月10日 (2012.9.10)
 【年通号数】公開・登録公報2012-036
 【出願番号】特願2012-500783(P2012-500783)
 【国際特許分類】

A 6 1 B 5/0484 (2006.01)

A 6 1 B 5/05 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 5/04 3 2 0 M

A 6 1 B 5/05 N

【手続補正書】
 【提出日】平成25年2月13日 (2013.2.13)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】請求項 27
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【請求項 27】

コンピュータプログラムであって、
複数の E E G 信号サンプルを記録するための機能と、
前記複数の E E G 信号サンプルを用いて、刺激同期平均信号を生成するための機能と、
前記複数の E E G 信号サンプルが刺激に反応して誘発されたか否かを判定するための機能と、
をコンピュータによって実現させる、コンピュータプログラム。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0037
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0037】

上述の実施形態は、理解しやすいように或る程度詳細に説明されているが、本発明は、これらの詳細事項に限定されない。本発明を実施する多くの代替的な方法が存在する。開示されている実施形態は、例示的なものであり、限定を意図するものではない。

適用例 1：システムであって、プロセッサであって、複数の E E G 信号サンプルの刺激同期平均信号を生成し、前記複数の E E G 信号サンプルが刺激事象のパターンに反応して誘発されたか否かを判定するよう構成された、プロセッサと、前記プロセッサに接続され、前記プロセッサに命令を供給するよう構成されたメモリと、を備える、システム。

適用例 2：適用例 1 に記載のシステムであって、前記刺激事象のパターンは、一定周波数で周期的に光フラッシュを発する複数の光源を含む、システム。

適用例 3：適用例 1 に記載のシステムであって、前記刺激事象のパターンは、周期的に光フラッシュを発する複数の光源を含み、前記複数の光源は、第 1 の一定周波数で光フラッシュを発する第 1 の光源と、第 2 の一定周波数で光フラッシュを発する第 2 の光源とを含む、システム。

適用例 4：適用例 1 に記載のシステムであって、前記刺激事象のパターンは、複数の周波数で周期的に光フラッシュを発する光源を含み、前記光フラッシュは、第 1 の周波数の

第 1 の光フラッシュと、第 2 の周波数の第 2 の光フラッシュとを含む、システム。

適用例 5：適用例 1 に記載のシステムであって、前記刺激事象のパターンは、非周期的な周波数で光フラッシュを発する複数の光源を含む、システム。

適用例 6：適用例 1 に記載のシステムであって、前記刺激事象のパターンは、視覚刺激事象のパターン、音声刺激事象のパターン、および、触覚刺激事象のパターンの内の 1 または複数を含む、システム。

適用例 7：適用例 1 に記載のシステムであって、前記刺激事象のパターンは、それぞれ独立したフラッシュ光事象を提供する複数の光源を含む、システム。

適用例 8：適用例 1 に記載のシステムであって、前記複数の E E G 信号サンプルは、前記システムのユーザの無意識の反応として誘発される、システム。

適用例 9：適用例 1 に記載のシステムであって、前記複数の E E G 信号サンプルは、意識的な E E G 信号応答を含む、システム。

適用例 10：適用例 1 に記載のシステムであって、前記複数の E E G 信号サンプルの各々は、複数のサンプル点を含む、システム。

適用例 11：適用例 1 に記載のシステムであって、前記複数の E E G 信号サンプルの各々は、時系列の E E G 信号サンプルを含む、システム。

適用例 12：適用例 1 に記載のシステムであって、前記刺激同期平均信号は、フラッシュ同期平均信号を含む、システム。

適用例 13：適用例 1 に記載のシステムであって、前記複数の E E G 信号サンプルが刺激事象のパターンに反応して誘発されたか否かの判定は、前記刺激同期平均を閾値と比較することによって実行される、システム。

適用例 14：適用例 1 に記載のシステムであって、前記複数の E E G 信号サンプルが刺激事象のパターンに反応して誘発されたか否かの判定は、事前に作成した原型平均を前記刺激同期平均に乗算することによって実行される、システム。

適用例 15：適用例 1 に記載のシステムであって、前記複数の E E G 信号サンプルが刺激事象のパターンに反応して誘発されたか否かの判定は、前記ユーザの E E G 信号に適合する原型平均を前記刺激同期平均に乗算することによって実行される、システム。

適用例 16：適用例 1 に記載のシステムであって、前記複数の E E G 信号サンプルが刺激事象のパターンに反応して誘発されたか否かの判定は、前記 E E G 信号データを積分して結果を生成し、前記結果を閾値と比較することによって実行される、システム。

適用例 17：適用例 1 に記載のシステムであって、前記複数の E E G 信号サンプルが刺激事象のパターンに反応して誘発されたか否かの判定は、タイムドメイン分類子を用いて実行される、システム。

適用例 18：適用例 1 に記載のシステムであって、前記複数の E E G 信号サンプルが刺激事象のパターンに反応して誘発されたか否かの判定は、リアルタイムで実行される、システム。

適用例 19：適用例 1 に記載のシステムであって、前記プロセッサは、さらに、前記システムのユーザが第 1 の光源を見ているか否かを判定するよう構成される、システム。

適用例 20：適用例 1 に記載のシステムであって、前記プロセッサは、さらに、前記刺激同期平均信号の（最大値） - （最小値）に基づいて決定される前記刺激同期平均信号の第 1 のピーク値を算出し、前記第 1 のピーク値を閾値と比較するよう構成される、システム。

適用例 21：適用例 1 に記載のシステムであって、前記プロセッサは、さらに、刺激タイミングに基づく時間オフセットを用いて前記複数の E E G 信号サンプルを前記刺激事象のパターンと相関させるよう構成される、システム。

適用例 22：適用例 1 に記載のシステムであって、前記プロセッサは、さらに、第 1 のユーザについて前記複数の E E G 信号サンプルを前記刺激事象のパターンと相関させる際に役立つように、前記第 1 のユーザに基づいてトレーニングを行い、第 1 のシグネチャ信号を決定するよう構成される、システム。

適用例 23：適用例 1 に記載のシステムは、さらに、アクティブ E E G 電極および基準

E E G 電極を含む複数の電極を備え、前記複数の電極は、前記複数の E E G 信号サンプルを検出する、システム。

適用例 2 4 : 適用例 1 に記載のシステムであって、前記プロセッサは、さらに、前記複数の E E G 信号サンプルが刺激事象のパターンに反応して誘発されたか否かの判定に基づいて、制御信号を供給するよう構成されている、システム。

適用例 2 5 : 適用例 1 に記載のシステムであって、前記プロセッサは、さらに、前記複数の E E G 信号サンプルが刺激事象のパターンに反応して誘発されたか否かの判定に基づいて、制御信号をデバイスに供給するよう構成され、前記デバイスは、娯楽システム、教育システム、医療システム、自動車システム、および、アプリケーションを実行するコンピュータの内の 1 または複数を含む、システム。

適用例 2 6 : 方法であって、生体信号センサを用いて複数の E E G 信号サンプルを測定し、前記複数の E E G 信号サンプルを用いて、刺激同期平均信号を生成し、前記複数の E E G 信号サンプルが刺激に反応して誘発されたか否かを判定すること、を備える、方法。

適用例 2 7 : コンピュータ読み取り可能な記憶媒体内に埋め込まれたコンピュータプログラム製品であって、複数の E E G 信号サンプルを記録するためのコンピュータ命令と、前記複数の E E G 信号サンプルを用いて、刺激同期平均信号を生成するためのコンピュータ命令と、前記複数の E E G 信号サンプルが刺激に反応して誘発されたか否かを判定するためのコンピュータ命令と、を備える、コンピュータプログラム製品。